

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等			
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 本校のカリキュラムポリシーである「少人数で生徒一人ひとりのニーズに対応する、誰ひとり取り残さない学び」について、満足を感じている生徒や保護者の割合が80%以上である。	① 少人数ならではの教育活動に対して満足度を持たせるようなきめ細やかな指導を実践する。	A	A (生徒96% 保護者100%)	A	本校のカリキュラムポリシーである「少人数で生徒一人ひとりのニーズに対応する、誰ひとり取り残さない学び」について、満足を感じている（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）生徒の割合が96%、保護者の割合が100%となった。日頃から生徒の個性を大切に授業実践を行っていることが評価された。次年度以降、さらに多様な個性を持つ生徒の増加が予想されている。個に即した授業の柔軟性がより一層求められる。 本校の様々な生徒会行事や部活動について満足を感じている生徒の割合は85%、保護者の割合は96%となった。今年度は生徒会を中心に、従来通りの行事を精選し、新しい行事改革を行った。「交流会」や「校外学習」は特に高い満足度を示した。こうした行事の準備や運営そのものについてもさらに生徒に主体性を持たせて活性化していきたい。	個を大切に授業がされ、生徒や保護者の満足度が高い点が素晴らしい。保護者やOB以外にも、地域との交流活動なども実施できるとよりよいのではないかと。
		② 本校のカリキュラムポリシーである「様々な生徒会行事、部活動などをおとしたコミュニケーション力の育成」について、満足を感じている生徒の割合が80%以上である。	② 生徒主体の学校行事を多く実施することで、生徒に満足度を持たせる。	A	A (生徒85% 保護者96%)	A		
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	① 「授業が分かりやすい」と感じている生徒が80%以上である。	① 生徒の発達段階や教科の特性に応じ、協働学習等を段階的に導入することで、生徒の主体的な学びを実現する。	A	A (生徒96% 保護者96%)	A	「本校は、個々の生徒にわかりやすい授業を行っていると思う」生徒の割合は96%、保護者の割合も96%と高い数字となった。「本校は、勉強がわからない時（周囲の友達や生徒と）助け合う環境にあると思う」生徒の割合も99%であり、日頃から協働学習が活発に行われている様子がうかがえる。しかし、2～4年生の在籍者数の13%にあたる人数（2名）が前年度に単位不認定科目を持ち仮進級となっている。義務教育段階から特定の科目に対して苦手意識が強い生徒も複数名いる。補習等の学習支援を今後は継続していきたい。 本校定時制職員間では、常に生徒の情報を共有している。毎日の打合せでは各学年からの様子を時間をかけて丁寧に報告し合い、特に情緒不安定や不登校傾向にある生徒への対応はケース会議等も行っている。少人数のアットホームな環境を作り、生徒が日常的に教育相談をしやすい雰囲気づくりに励んでいる。本校スクールカウンセラーの先生の献身的な活動と、職員が連携しており、普段から小さな問題にも目を配ることができている。生徒の抱える個別の問題は奥深く、今後はさらに中学校との連携が望まれる。	生徒に寄り添い、中学校時まで不登校傾向だった生徒と向き合う姿に感謝したい。スクールカウンセラーとの連携もさらに継続してもらいたい。
		② 単位未修得者が、全校生徒の10%以下である。	② 学習進度が遅れがちな生徒に対して、補習等の学習支援を実施する。	B (13%)	-	B		
	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	① 職員打合せにおいて、生徒に関する情報交換を毎日100%行っている。	① 職員間で情報を共有し、情緒不安定や不登校傾向にある生徒への対応に学校全体で取り組む。	A (100%)	-	A		
		② 中学校時は不登校だったが、高校入学後に改善され、登校できるようになった生徒が80%以上である。	② 日常的な教育相談等を通して、生徒への適切な対応を行うとともに、継続的に支援する。	A (90%)	-	A		
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	① 清掃活動に積極的に取り組み、100%の生徒が清掃に参加している。	① 全生徒と全職員と一緒に毎日清掃に取り組み、環境美化賞など特に熱心に取り組んだ生徒の表彰制度を行う。	A	-	A	様々な悩みを抱えている生徒に寄り添っているとされる。アットホームな雰囲気は、授業見学をさせてもらった際にも感じられた。今後もこの雰囲気を継続してもらいたい。	
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	① 「学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っている」と感じる生徒・保護者の割合が80%以上である。	① 日常的な声掛け指導を通して、いじめ等に係わる悩みがないかを把握し、早期対応ができるように取り組む。	A	A (生徒85% 保護者92%)	A		
		② いじめの解消率が100%である。	② アンケート調査を学期毎に1回実施し、情報共有するとともに個人面談を充実させる。	B	-	B		
6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	① 欠席率が15%以下である。	① 中学校時に不登校の生徒が多いが、そのことをふまえて家庭との連絡を密にとりながら生徒の出席を支援する。	A	A (欠席率10.8%)	A			
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	① 「学校は進路について生徒とともに考えることができている」と答える生徒の割合が80%以上である。	① 生徒の進路希望に沿った企業・上級学校の情報を随時提供し、二者面談などを行い生徒とともに考える。	A	A (生徒100%)	A	地元にも多くの企業がある。就職やアルバイトなど、地元企業との連携もしていけたらと思う。	
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	② 「自分の将来について考え、将来の職業について調べることができている」と答える生徒の割合が70%以上である。	② アンケートや進路ガイダンスなどを行い、生徒の進路について、生徒と保護者等が共通の目標を持てるように支援する。	A	A (生徒74%)	A		
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	① 定時制課程の教育活動を理解してもらうために「学校見学」を随時受け入れる。	① 11月以降、入学説明会を兼ねた「学校見学」を随時受け入れる。1人あたり30分～60分と時間を割き、丁寧に説明をする。	A	-	A	本校定時制の入学を検討している生徒・保護者を対象に個別説明会と相談会を実施している。今年度からは、授業中の教室に実際に入って参観してもらった。また、希望があれば在校生に質問もできる場面の設定もした。柔軟な対応の結果、見学者には好評であり、入学希望者も増加している。また、学校の様子を広く公開するために定時制のWebページの更新を頻りに行っている。月に3～4回のペースで安定して行っており、見学に来た生徒・保護者は概ね閲覧してくれている。しかし、在校生とその保護者は「安総定時制のWebページをよく見ている」と回答した割合は50%程度であった。この点を改善できるようなWebページの魅力を考えていきたい。	Webページのブログを見ていると生徒の生き生きとした様子が見える。個別の説明会も丁寧に参観してもらい、ありがたい。
		② 定時制Webページの更新を月に3回以上行う。	② 生徒の日々の活動の様子を記録し、開かれた学校づくりのために魅力的なWebページの更新を行う。	A	B	B		
Ⅵ 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	① 「学校はPCやオンラインの動画などを使ってわかりやすい授業を取り入れている」と感じている生徒の割合が70%以上である。	① クロームブックやBYODを活用した授業を積極的に実施するとともに、生徒にとってわかりやすい授業のために教材を工夫する。	B	A (生徒81%)	A	教員のICTの活用に関しては、今年度より校務支援システム（kinako）の活用を積極的に行い、業務のスリム化ができた。また、「学校はICTを活用したわかりやすい授業を実践している」と答えた生徒は81%であった。教員側のICTの活用は進み、生徒にとって理解を深める教材開発は行っているものの、生徒自身がICT機器を活用する機会はまだ少ない。教員・生徒がデータのやり取りを相互にする機会も少なく、一部の授業やアンケートでの活用にとどまっている。今後は生徒のICTの積極的な活用を場を設けていきたい。	
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	① アンケートのデジタル化や職員会議やその他資料のデジタル化、kinakoの積極的運用を心掛ける。	① 業務のペーパーレス化を心掛け、kinakoの活用を積極的に行う。また、学校で実施するアンケートはformを活用する。	B	-	B		
※各学校で必要に応じて評価対象を加える。								